学校番号	３０２４

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新訂版「世界史Ａ」　（実教出版）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表　三訂版（第一学習社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は繰り返す　繰り返すからこそ歴史である。
歴史に学び、現代の世界を読みとく。

２　学習の到達目標

歴史的思考力を高め、その法則性を感じ取る。
近現代史を深く学習することによってグローバル化してきた世界を読み取る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、国際関係の発展と現代世界に積極的に関与する姿勢。	世界が抱えてきた諸問題を理解し歴史的にどのような方法で乗り越えてきたを考え、現代世界に対応する思考。	諸資料や年表、国際関係の構図を理解しまとめる、また発表等によって自己の考えをまとめていく。	歴史的事象とその関連性を把握し、現代世界が抱える諸問題にアプローチする。
評価方法	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	文明の始まり	文明の始まり	○	○	○	○	a:各地の気候風土を理解している b:気候風土がもたらす影響について考察している c:気候風土についてまとめている d:現代とのつながりを考えている。	ワークシート
	ユーラシアの諸文明と交流	ユーラシアの諸文明の特質 ユーラシアの交流	○	○ ○	○ ○	○ ○	a：ユーラシア各地の文明について関心を高めている。 b：ユーラシア諸文明の交流をグローバルな視点で考察している。 c：資料、芸術品等から諸文明の特質をまとめていく。 d：古代文明と今につながるものを把握している。	定期考査
	むすびつく世界と日本	・世界の一体化 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成 〔主題学習〕 ・日本と世界の動きについてグループごとにテーマを設定しまとめていく	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：ヨーロッパ世界の世界進出により諸地域に及ぼした影響を考え関心を高めている。 b：世界のつながりによる経済活動と各国の政治活動について特徴を捉えている。 c：地域別の活動を理解し、どういう経緯で融合していくかをまとめている。 d：主権国家の概念と現在の国家との比較をおこない、その違いについて理解を深めている。	定期考査 グループ作業 ワークシート

二学期	19世紀の世界の一体化と日本	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:産業革命による工業化がもたらす新たな世界秩序について理解を深め、現代世界との関連性に関心を高めている。 b:１９世紀のおける植民地の意味とその構造を政治面と絡めて考察している。 c:ヨーロッパ列強の進出による諸地域での変化、もたらしたものと失ったものを整理している。 d:世界の潮流と日本の変化の関係について、政治、経済、文化面から確認している。	定期考査 実力考査 グループ作業
	二つの世界大戦	・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動のたかまり ・第二次世界大戦	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○	ａ：政治的、思想的対立と国家形成について理解を深め、現代の国際関係との関連性に留意している。 ｂ：人類史上最悪の世界戦争に対して、どうような知恵をもって対処し平和を維持するかを思考している。 ｃ：政治、経済的な共通点を整理し、各国の形態をまとめて分類している。 ｄ：国際社会での日本の立ち居地、対応について確認しその内容を理解している。	
三学期	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の社会	○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域の変化と現在まで続く課題について理解している。 b:現代の政治、経済の構造について第二次世界大戦後の変化を捉え、その内容について考察している。 c:具体的なデータをもとに国際社会の経年変化を捉え、冷戦時代とその後の変化をまとめている。 d：第２次世界大戦後の基本的な事件や現象を身につけ現代世界の成り立ちを理解している。	定期考査 実力考査

三学期	現代の世界	・統合へ向かうヨーロッパ ・アジア・ラテンアメリカの動向 ・西アジア・アフリカの混迷 ・南アジア・東南アジア・オセアニアの動き 〔主題学習〕 「持続可能な世界をめざして」 世界が取り組んでいる課題について調べていく	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:現代の世界の動きを新聞・ニュース等で積極的に集め追求している。 b:現代世界の動きと日本の対応について考察を深めている。 c:具体的な課題について世界の情勢を分析しまとめている。 d:現代世界の大きな変化を把握し、それが及ぼす影響について理解している。	定期考査 レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。